

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字かんじを書きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  き が  ひとつ で  き 、  ふたつ で  はやし 、

みつつ で  もり 。

② はっぱが  いち まい、きいろになる。

③  もく ようびは、  もり にえんそく。

④  に ひきのめだかと  さん びきのあめんぼう。

⑤  はやし の  こ かげで、  ひと やすみ。

つぎ ぶん  
次の文の  にあてはまる漢字をか  
きましよう。

おく き  
送りがなにも気をつけましよう。

①  しがつ  
に  にゆうがく  
、おめでとう。

② はりきつて  がつこう  
にいく。

③  き  
にのぼつて、  じき  
をみる。

④  げつ  
ようび、  こう  
ていであそぶ。

⑤ くやに  はいって  
きたのは、  よにん  
。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  ごがつ に  ご ひきのこいのぼり。

②  みぎあし で  いつつ の  いし をける。

③  いし だんをかけ  あし でのぼる。

④  みぎ  みて  ひだり  みて 、あんぜんかくにん。

⑤  ひだり にまがつて、  こう もんに  はいる 。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① 、んぼにがふる。

② あさ、とりをする。

③ ぴきのかえるがケロケロとなく。

④ につゆをつむ。

⑤ んぼのあぜみち、のかかし。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  しちがつなのか  
は  たなばた  
まつり。

②  そら  
にはきれいな  あま  
の  がわ  
。

③  てん  
までとどけ、  すか  
イツリー。

④  ゆう  
がたの  そら  
は、あかねいろ。

⑤ つめたい  かわ  
に、ほたるがとぶ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  は  おきでげん 。  
はちがつようか はや

② あさがおに、 たつぷり  やり。  
みず

③  よう  に、  のたねがとれた。  
すい び やつつ

④ うみで  を 。  
かい みつける

⑤  たまりに、  をつける。  
みず き

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  くがつ(月)のか  
は、えん  そく  
にいく。

②  はなび  
が  あがつて  
 うえ  
を  みる  
。

③  つち  
をもち  あげて  
、たねをうえる。

④  か  
よう  び  
に、  きゆう  
ひきのとんぼを  
 みつけける。

⑤  (月)の(日)  
のひつじぐもが、  そら  
にうかぶ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
かんじ か

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①

じゅうがつ

は、お

つきみ

でおだんごをたべる。

②

ど

よう

び

に

がっこう

にいく。

③

こう

はく

たまいれ

、

おおだま

おくり。

④

あかい

ゆうひ

にそまる、

しろい

すすぎ。

⑤

とおか

で

じつ

ぴき、

はつか

で

にじつ

ぴ

きのいわしをたべる。



つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  やま  
にのぼって、もみじがり。

② さかを  した  
に  おりる  
と、  むら  
があつた。

③  かわしも  
で、さかなをつり  あげる。

④ たき  び  
をする。

⑤  いし  
やきいもは  なか  
がホカホカ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  て  
ぶくろをして  いぬ  
のさんぽ。

② いちようのはっぱを  ほん  
のしおりにする。

③  き  
によりかかって、  
 やすむ。

④  にち  
よう  び  
に  まち  
くいく。

⑤ ふゆ  やすみ  
にあつい  ほん  
をよむ。

国語 一十一 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日
---------------

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。  
おく  
送りがなにも気をつけましょう。

①  いちがつついたち、お  しょうがつ。

②  め で  みて たのしみ、  くち でもたのし

むおせちりようり。

③  ただしい しせいで、かきぞめ。

④ お  としたま でもらったお  かね をもつて、

かいものに行く。

⑤  きん よう  び に、  ねん がじようを  みる。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  にがつふつか  
に  いぬ  
が  うまれた  
。

②  みみ  
をすますと、ゆきがふる  おと  
。

③ ゆきの  じよおう  
が  そら  
をとぶ。

④  みみ  
あてをした  おんな  
の  こ  
があるいている。

⑤  おおきな  
 いぬ  
が  いりぐち  
にいた。

国語 一—十三 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日
---------------

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  さんがつみつか  
はもものせつく。

②  たけ  
やぶに、つくしが  でて  
きたよ。

③  た  
んぼではたらく  ちから  
もちで、  おとこ。

④  ちから  
を  だして、  た  
んぼをたがやす。

⑤  あおぞら  
にお  ひ  
さまポツカポカ。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  じゅうえん  
が  じつこ  
で  ひゃくえん  
。

②  ちいさい  
ケーキをかう。

③  ひゃくえんだま  
を  じつこ  
ためて、  せんえん  
。

④  しろい  
 か  
びんに、きれいな  はな  
を  いれる  
。

⑤  こ  
どものおいおい、おたん  じょうび  
。

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

①  みぎ  みて、  ひだり  みて、  くるま  
をかくにん。

②  あかい  しょうぼう  しゃ  
がはしっている。

③ てんとう  むし  あか  
も いろ。

④  あかい  いと  
をむすんで、あやとり。

⑤  せんせい  
にかんじをおしえてもらう。

国語 一—十六 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日
---------------

つぎ ぶん  
次の文の  に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き  
送りがなにも気をつけましょう。

① いすから 、 をよむ。

② れつの  とうは、よしのさんです。

③  をたくさんかく。

④ らい  は、 。

⑤  といっしよに  にいく。